



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2023年

4月

No.301



晴れやかな天気恵まれ最後のお茶会。皆さんのこれからも今日のように晴れやかになりますように。



4月の社協だより

もくじ

- P2 益城町地域支え合いセンター／地域支え合いセンター
- P3 事務所一部移転のお知らせ
- P4 ボランティアの集い／地域福祉課
地域サロン／地域福祉課
- P5 地域での活動紹介／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P6 福祉体験学習／在宅福祉課
- P7 社協情報／ひきこもり相談窓口、もの忘れ相談室 など
- P8 地域サロン／五楽、馬水北、安永2町内、堂園
地域を支えるふくしの輪／多世代交流事業

今月号の表紙は「木山仮設団地お茶会」です。木山仮設団地は、3月末で閉鎖されるため最後のお茶会となりました。

木山仮設団地の閉鎖に伴い、「コミュニティソーシャルワーカー」と「シルバー人材センター」の事務所が、4月から益城町保健福祉センターへ移転しています。

また社協情報には、4月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

益城町地域支え合いセンター

最後のお茶会を開催しました

3月5日(日) 木山仮設団地東集会所 談話室でお茶会を開催しました。冒頭に西村会長が挨拶を行い、その後サロンダンスや進藤久明さんのステージ、抽選会などを行い多くの方が参加されました。今回も開催にあたり多くの方にご協力

ランテア団体の雑貨販売など多くのブースが並んでいました。最後に記念撮影を行い、故アントニオ猪木さんの「1・2・3・ダーッ」の掛け声で皆さんのこれからの健康と幸せを祈りながら締めくくりました。3月末で木山仮設団地が閉鎖されることにより、今回が最後のお茶会となり多くの方に参加いただきました。



馴染みの方同士で団らん



「1・2・3・ダーッ」で最後を締めくくりました

地域支え合いセンター閉所のお知らせ

この度、木山仮設団地及びみなし仮設住宅の提供が3月末で終了したことに伴い、地域支え合いセンターも閉所となりました。

熊本地震で被災された方々が、安心して日常生活を取り戻し、生活再建ができるよう、見守りや生活支援、地域交流促進等の総合的な支援を行うことを目的として、平成28年10月に益城町から受託し、6年6か月に渡りセンターを運営してきました。

社会福祉協議会をセンター本部として、当初は社協から委託した5団体とともに最大時は、仮設団地(18団地1562戸)、みなし仮設住宅(1607戸)、在宅(4128戸)の合計7297戸(世帯)が支援対象世帯でした。センター職員も最大時は各団体と合わせて90名が活動しました。

初めての活動で戸惑うことも多々ありましたが、被災された方々に寄り添った支援を心がけて訪問活動等を行ってまいりました。住まい及び生活再建が徐々に進み、災害公営住宅完成後はセンター規



地域支え合いセンター事務所



木山仮設団地

模も縮小し、令和3年度からは社協のみで活動してきました。今後は、センター活動を活かして社会福祉協議会の使命である地域福祉の推進にさらに努めてまいります。地域支え合いセンター活動にご協力いただいた全ての方に感謝します。

事務所一部移転のお知らせ

当協議会では、令和5年3月末まで事務所を2か所（益城町保健福祉センター内、木山仮設団地北集会所）に分けて活動していましたが、令和5年4月から益城町保健福祉センター内の1か所で活動を行っています。木山仮設団地が閉鎖されたことにより、地域支え合いセンター活動も終了したことで、事務所も1か所に統合されました。

皆様にはこれまで、事務所が分かれていたことによりご不便等おかけしたこともあると思いますが、今後は益城町保健福祉センター内で全ての業務を行いますので、今後ともよろしくお願いたします。

移転する業務内容

①コミュニティソーシャルワーカー事業

- ・相談支援、アウトリーチ
- ・社会福祉士連絡会 等

電話 096-214-5566

FAX 096-214-5567

②シルバー人材センター事業

- ・（草刈、剪定等）作業受付
- ・請求、領収業務 等

電話 096-289-6092

FAX 096-289-6091

移転日 令和5年4月1日（土）から
（業務開始は4月3日（月）です）

移転場所 益城町保健福祉センター
（住所 益城町惣領1470）



益城町保健福祉センター児童館側の外観

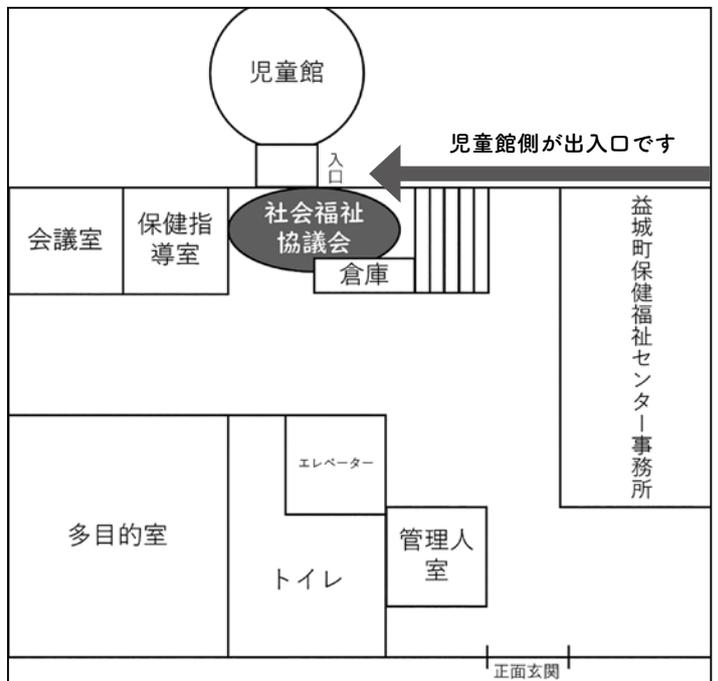


社会福祉協議会事務所

益城町保健福祉センター案内地図



センター内見取図



ボランティアの集い

地域福祉課

新たなつながりを作ろう

2月8日(水) 町交流情報センター
タナーナテラスで開催し、町内で活動されるボランティア団体、個人、地域住民78名が参加しました。

当協議会では、熊本地震前まで「ボランティアまつり」を実施していましたが、地震と新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができませんでした。今回は、ボランティア団体の交流と地域の方へボランティア活動を周知することを目的として、規模を縮小して開催しました。

午前中は、人吉市で農村レストランひまわり亭の活動をされている本田節さんに「人のつながりになる」というテーマで講演いただき、熊本地震や新型コロナウイルス状況下での活動について話していただきました。参加者から「地震やコロナで心が沈んだ時もあったが、講話を聞いて、一人じゃない頑張ろうと思った」との声が寄せられました。午後からは、ボランティア連絡協議会の所属団体の活動紹介や展示を行いました。



本田節さんの講話、多くの方が参加されました

ボランティア団体紹介
(傾聴ボランティア)



オープニングを彩っていただいた手話ダンスフレッシュまじきの皆さん

地域サロン

地域福祉課

地域サロン助成金申請及び報告説明会

2月24日(金)から3月3日(金)まで4日間に分けて小学校区ごとに開催しました。説明会には、各地域サロンの代表者や協力員など計72名の参加があり、コロナの影響もあって参加人数が減少していることや外出サロンの時の保険のこと、サロン活動の状況やコロナ禍でも工夫して行ったことなど意見交換しました。

また、子どもから高齢者まで多世代交流の場として地域サロンを実施されている地区の紹介や一人暮らし高齢者や見守りが必要としている住民さん等の地域の見守りも含め、区長や民生委員・児童委員、高齢者相談・地域福祉委員、シルバーヘルパー、サロン協力員 同士の情報共有の場の一つであることなど、地域サロンの意義についての話も出ました。

この説明会は、地域サロンの助成金の申請や報告について、新しく代表になられた方等がスムーズに手続きができるように年1回開催しています。



工夫を凝らして実施しているサロンを紹介しました



質問や活動状況など活発な意見交換ができました

地域での活動紹介

地域福祉課

子どもたちの安全・復興を見守る

今回は、木山校区で登下校の見守りをされている「益城中央小登下校バス見守りチーム」を紹介します。

令和3年9月から声かけが始まり、現在では市ノ後、辻の城団地、市ノ後団地、木山下辻団地の有志11名で活動さ

れています。

熊本地震後、通学路だった寺迫交差点が通行できなくなったため、バスでの通学を余儀なくされた子どもたちの登下校の安全を見守ってこられました。「強制ではなく、雨の日も雪の日も暑い日も、できる日にできる人が集まってやっています」「見守り以外の場所でも、子どもたちが顔を覚えていてくれて「あーッ、見守りのおばちゃん！」と声をかけてくれます」「子どもは

益城の宝。見守り自体が生きがいになっていく」と話される方もいて、皆さんの優しい笑顔が印象的でした。

この見守り活動は5月までの予定。道路が整備され、子どもたちのバス登校がなくなった後は、それぞれで登下校の見守りを継続していきたいと話されていました。

会員登録のきっかけ

会社を退職し、時間的な余裕ができた頃、社協だよりで募集の案内を見たこと、それから従妹が会員として活動していたので登録しました。

活動をとおして思うこと

会員登録して1年くらいですが、活動を続けることで徐々に顔なじみが増え、地域に詳しくなり、やりがいと生きがいにつながっているように感じています。

趣味

米や野菜を作り、近所や知り合いにおすそ分けすることが趣味です。今はジャガイモを植えており、5月の収穫時期を楽しみにしています。

これからやりたいこと

いつまでも若々しくありたいと思っています。そのためにも身体を動かし、人とのめぐり合いを大事にしながら活動を続けていきたいです。

会員紹介 ～タスキ～

No.34

氏名 吉村一男さん
所属 草刈班



高年齢者の生きがいづくり シルバー人材センター



作業合間の休憩



草刈作業の様子

事務所移転のお知らせ

令和5年4月1日から益城町保健福祉センターはびねす内に事務所を移転しています。詳細は、3ページをご覧ください。

問 シルバー人材センター ☎ 096-289-6092



辻の城の下田商店前と宮園の役場新庁舎前の2か所に分かれて見守り活動をされている皆さんです。よろしくお願ひします。

広安小学校3年生の感想文(一部紹介)

- ・困っている方に優しくしたり、いじめや差別をなくしていこうと考えました。
- ・お年寄りや病気になるっても、周りの人の力があれば大丈夫なの分かりました。
- ・目や耳が不自由であっても、周りの人が助けてくれるだけで、とても生活しやすくなること分かりました。



ふだんのくらしのしあわせが福祉だと説明しています



アイマスクをしてスロープを渡る人と介助する人の体験



ゴーグルを付けて掲示板の文字を読む体験

福祉体験学習

在宅福祉課

広安小学校で開催しました

2月21日(火)、24日(金)の2日間で広安小学校3年生124名を対象に福祉体験学習を開催しました。

はじめに福祉について講話を行った後、アイマスクやイヤーマフ、ゴーグルを使い障がい者や高齢者の疑似体験を行いました。室内にスロープを取り付け、積み木合わせ、絵合わせ、掲示物の見比べを行い、普段感じることのできない体験に子どもたちは「見えない。分からない。怖い」といっ

た声が聞かれました。

福祉体験学習は、小中学生を対象に行っています。この体験をきっかけに地域全体で支え合い、住み慣れた地域で安心して生活ができる優しいまちづくりを目指していくために、子どもの頃から福祉について興味・関心を持って過ごしていただければと思っています。

後日、体験した児童から感想文が寄せられましたので、一部をご紹介します。



アイマスクをして文字を揃える人と介助する人の体験



交代して行うことで見えづらさを確認します

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」に悩んでいる方へ
 小さな一歩を踏み出すために

ひきこもりって?・・・ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。誰にでも起こりえますが、長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなる場合があります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。あなたのタイミングで気軽に相談してください。ご家族や知り合いの方からの相談もお受けしています。

問 地域福祉課

☎096-214-5566

県ひきこもり地域支援センターゆるここ

☎096-386-1177

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、

必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日 4月18日(火)

13時30分から 14時30分から
 15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

※事前予約制です。

問 地域福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮などの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの

解決に向けて一緒に考えていきます。福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問 コミュニティソーシャルワーカー

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター会員募集

現在、当センターでは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。入会希望者だけでなく、活動内容についてのお尋ねだけでも構いません。興味のある方は事前にご連絡をお願いいたします。

日時 随時(平日9時から16時まで)

場所 保健福祉センター内事務所

(益城町惣領1470)

問 シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。電話での相談も対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080-8427-8981

(開設時間のみ)

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 ☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
4月5日(水)	松尾英美 (司法書士)	木下たつみ (民生児童委員)	
4月12日(水)	松尾英美 (司法書士)	森田俊彦 (人権擁護委員)	杉野 武 (民生児童委員)
4月19日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	野口泰喜 (人権擁護委員)	松本みゆき (主任児童委員)
4月26日(水)	松尾 一 (行政書士)	遠山美智子 (消費生活相談員)	岩本久枝 (民生児童委員)
5月3日(水)	祝日(憲法記念日)		

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

五楽しらゆり会



場所：五楽公民館 日時：毎月第2水曜日 13時30分

馬水北まごころサロン



場所：①馬水公民館、②馬水公営団地
日時：①毎月第3土曜日、②毎月第3木曜日 10時

安永2町内元気サロン



場所：安永1・2町内公民館 日時：毎月第3水曜日 10時

堂園サロン



場所：堂園公民館 日時：毎月第1月曜日 10時

地域を支えるふくしの輪

多世代交流事業

2月9日（木）に広安小学校の児童と地域住民との交流を行いました。当日は、手芸クラブの4～6年生にアクリルタワシの編み方を教え、初めてかぎ針を触ったという児童もいました。児童から「指編みでマフラーを編んだことはあるよ」「はじめは難しかったけど、やり始めたら面白かった」と感想が寄せられ、地域住民からも「一生懸命なのでしっかり教えたい」「子どもたちは覚えるのが速いね」と話され、今後も子どもたちとの交流をしていく予定です。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



アクリルたわしづくりを教えてくださいました皆さん

2023年

4月

No.301

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL /096-214-5566 FAX /096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

